



福岡市議会議員(西区)

# 田中たかし

議会通信 vol.29 (2026年冬号)

## 福岡市の物価高騰対策が可決・決定!

田中たかし市政相談所

〒819-0378  
福岡市西区徳永北14-27 1F  
092-407-6236  
tanakatakashi.office@gmail.com



プロフィール

福岡市議会議員(2期目):福岡市民クラブ政調会長、総務財政委員会委員、議会運営委員会理事 他  
福大大濠高校卒業、拓殖大学卒業、法政大学大学院修了、国会議員政策秘書 等

### 今年も全力で活動! 市民生活に密着!!

令和8年が幕を開けました。昨年はコメ価格をはじめとする物価高の影響が市民生活を圧迫した一年でした。福岡市は過去最高の税収となり、好調を維持していますが、今後は社会保障費の増大や公共施設の維持管理などに多額の費用がかかってくるなど、決して楽観できる状況ではなく、福岡市の今の好調さが、どれだけ市民の皆さんに還元されるのか全く不透明です。止まらない物価高で疲弊した、市民生活の立て直しや安定に向けた積極的な取組みが求められることとなります。

私は一期目から、「好調な福岡市の影には日々の生活に不安を抱えている人が多くいる」ということを忘れることなく、議会内外で発言・発信をしてきました。二期目の最終年度を迎える令和8年も、その初心をブレさせることなく、執行部に対してしっかりと提言をするとともに、政策実現に向けた活動を一層加速していく所存です。

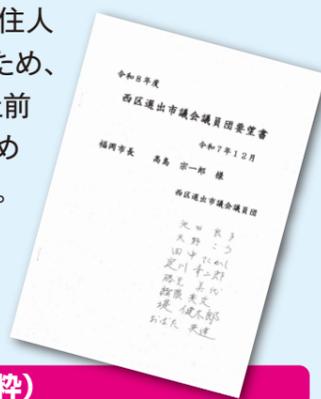
令和8年、福岡市は市長選挙が執行されることとなりますが、現在の高島市政を冷静かつ客観的に見つめ、「いいものはいい、悪いものは悪い」としっかりと発信し、市民生活向上のために議員として何ができるのか、原点に立ち返り考えていきたいと思えます。

行政が全て正しい政策判断をするとは限りません。自治体の政策判断に民意を反映させるのは議会の大きな役割であるということを改めて自覚し、今年一年も精一杯仕事をさせていただきます。本年も皆さまのご指導ご鞭撻、そして貴重なご意見をたまわりますようお願いいたします。



### 西区選出市議会議員団 要望書を市長へ提出

西区は福岡市内の地理的要因から行政課題も複雑多岐に亘ります。インフラ整備が依然として進まない地域もあり、他区に遅れを取っていると感じている住人も多いのではないのでしょうか。そのため、西区選出の市議会議員は30年以上前から、会派を超えて要望を取りまとめ市長に事業要望を行ってききました。昨年も直接市長に対して予算要望をしてきましたので、今号では一端をご紹介します。



#### 主な要望(抜粋)

九大関連

- 「九州大学と福岡市との協力協定書」に基づき、本市は九大と連携・協力して地域社会の振興を図ること。
- 九大生及び住民の利便性向上のために、バス交通の便数や運賃の負担軽減、さらには筑肥線停止時の対処について特段の配慮を図るようバス事業者に要望すること
- 桑原地区のまちづくり、周船寺駅南土地区画整理事業について、地元意見を踏まえた手厚い支援をすること

道路関連

- 前原道路から学園通線に連絡する、天神方面への入口、周船寺方面への出口の徳永交差点付近での早期整備をすること。
- 今津橋の早期の架け替えを推進すること
- 今津地区における自転車・歩行者の安全性向上に資する道路整備を推進すること
- 市道千代今宿線の渋滞緩和のために、交差点改良などの対策を講じるとともに、将来的な同線の4車線化を検討すること。

交通・まちづくり関連

- 公共交通機関について行政支援の維持を図るとともに、地域に経済的負担が生じないよう図ること。
- 生活交通確保のために人口減少が見込まれる地域に対する支援の充実を図ること。
- 橋本駅と姪浜駅の速達性を重視し、地下鉄延伸の検討をすること。



## ココがポイント 福岡市の物価高騰支援策

12月11日から開会した福岡市議会において、政府が11月に発表した総合経済対策で拡充された「重点支援地方交付金」を財源に充てた本市の物価高騰支援策が可決されました。

同交付金は地域ごとの実情に応じて活用できる点が特徴で、自治体は国へ申請した上で事業を実施します。今号では、福岡市で採用された支援策についてご紹介します。

### ① すべてのご家庭

#### 下水道代が「実質2か月無料」に【市独自】

市民の皆さんの負担を直接減らすため、福岡市が独自に実施します。  
内容: 下水道使用料(基本+従量)の2か月分を全額免除(1世帯平均3,350円/2か月)  
対象: 下水道を使用する全世帯(手続き不要)  
時期: 令和8年(2026年)2月・3月の検針分



### ② すべてのご家庭

#### 電気・ガス代の直接値引き【全国共通】

国の施策として、冬の暖房需要が高まる時期に実施されます。  
内容: 1月~3月の3か月間、請求額から直接値引き  
目安: 標準的な世帯で3か月合計 約7,300円の負担軽減  
備考: ガソリンの暫定税率(25.1円/ℓ)の廃止も実施済み。



### ③ 子育て世帯

#### こども1人につき「2万円」を支給【全国共通】

国の「物価高対応子育て応援手当」を速やかに届けます。  
内容: 対象児童1人あたり一律 20,000円  
対象: 0歳~18歳(高校生年代まで)のお子さんがある世帯  
ポイント: 原則として、児童手当の振込口座へ申請不要で振り込まれます。



### ④ 市内でお買い物

#### プレミアム付商品券の発行【市独自】

地元での買い物を支援し、家計を助けるとともに市内事業者や商店街等を支えます。  
内容: 全市版プレミアム付商品券「ネクスペイ」(キャッシュレス版)発行支援および、商店街発行のプレミアム付商品券(冊子版・キャッシュレス版は商店街による)の発行支援。

##### ◆ネクスペイ概要

プレミアム率20%、1口 5,000円(6,000円分)で一人6口まで購入可。  
販売は予約抽選制 第1回申し込みは市内在住者限定(第2回以降は未定)、申込期間は3月13日(金)~ 3月24日(火)、利用期間は3月30日~ R8年9月30日。



### ⑤ 福祉施設・中小企業

#### 現場への直接支援【市独自】

施設の食事や光熱費の高騰分を市がバックアップし、サービスの維持と雇用を守ります。

◆介護・障がい者施設・保育所 → 支援内容: 電気代・食費の価格高騰相当分を助成

◆市内中小企業 → 支援内容: 燃料費・光熱費の価格高騰分の1/2を支援(上限60万円)

対象期間: 令和7年7月~9月分 + 令和8年1月~3月分(計6か月分)

主な単価: 電気 0.2円/kwh、都市ガス 11円/m<sup>3</sup>、ガソリン・軽油等 9円/ℓ など

申請開始: 令和8年3月下旬(予定)

※最新情報は、市政だよりや市公式ホームページなどに随時掲載予定です。



田中たかしが12月定例会で福岡市の支援策について議案質疑をしています! 詳細は議会中継と議事録で確認できます! ぜひご覧ください!

田中たかし議会中継



議会議事録

